に取り組まれましたが、

鷹山夢街道 PART V 最上川

最上川は貴重な財産

あり、

資源としてとらえ、

る最上川は、貴重な財産で

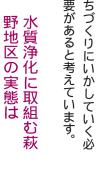
本町の中央を貫流す

伺います。

どのようにとらえているか と言っています。 最上川

最上川の持つ魅力と力をま

本木 最上川は、 な河川をきれいにすること ことです。 は、最上川をきれいにする 川の全てが注ぎ込み、 野地区の実態は水質浄化に取組む萩 地区全体で河川浄 区全体で河川浄化の年の一番の 本町の河 身近





五百川渓谷

とした観光交流計画を策定

したいと思っています。

自然を研究し、 の支援を受け、

最上川を軸 、文化、

(財)地域活性化センター

町民税務課長の記事である。 全戸が協力して、 萩野地区は、 米のとぎ

て水質浄化に取り組んできぼかしやEM団子を活用し 汁をはじめ汚れたものを流 さない活動をしています。 掘り起こしは流域の歴史・文 EM菌を使い 文化の E M

本木県は、 遺産登録に向け、 最上川の世界 精力的に

川という大きな財産がある本木 町長は、本町に最上胸に抱く最上川とは

見つめ、 町長 流域の集落では、いますか。 佐野原、

においても流域の菖蒲、取り組んでいますが、* 大瀬地区では ^供本 下町

ています。 このようなこと 動きが、ふつふつと湧き出 上川の価値を中心に地域を るが、どのようにとらえて そうとの運動が広がってい 自ら歴史・文化を掘り起こ 大いに期待を-地域づくりの# 地域に誇りを持つ ^期待をしていま へりの基本であ 最

副町長 用した地域活性化のため、白鷹町の3町で最上川を活 道」流域自冶体の連携と、 が開削したといわれる「 が開削したといわれる「舟することは、西村久左衛門 本木 最上川の世界遺産登 うに対応するのか伺います いわれていますが、どのよ 録に向けて県が本町に期待 大江町、 朝日町と

五百川渓谷を中心と

した連携が必要

田んぼの学校(鮎貝小学校)

同調理場や保育園で中国産食品問題がありますが、共<mark>佐竹</mark> 現在、中国産の冷凍 を使用しているものがある 中国産食材の使用は

教育主幹 健康福祉課長 材を使用しています。 のこやわかめなど一部の食 中国産は、 保育園は自 たけ

産の食材は使用しておりま保育園の給食を行っています。 せん。 く使っています。 食材は、地物産を多

ついての町長の考えを伺い踏まえ、食育・食農教育に

食材を使用していることを

当町でも、

給食に地元の

北農政局長賞」を受賞しま

を目指した取り組みで、東菜を育て、給食に5割使用

竹 高畠町立二井宿小学食農教育の実践

学校近くの土地で野

地物産の使用拡大

ゕ゚ ができると思うがどうです 地物産をもう少し使うこと 佐竹 料理の工夫により、

だけでなく、

一家団らんを

知識を身につけること

食育とは、

単に望ま

て地物産を使用しています。 地物の食材を使用するメ

現在30%を超え

であり、

食を通した人づく

の心などを育む幅広いもの

の食文化、

食に関する感謝

通じて思いやりの心や郷土

りであると考えています。

工夫をしていきます。関係者と連絡を取りながら ニューを増やすなど、

野にいれて良いと思います 佐竹 自校方式の給食も視 がどうですか。 自校での給食を

当町の共同調理場は、

納入 衛生的で健康的な調理場で ドライシステムを採用した 栄養士をはじめ職員で知

リットがあり、今までどおに対応できるなど多くのメ ていきます。 り共同調理場方式を推進し 恵を出し合い、 多様な献立

町の施政

農基本法を示せればと思いがありますが、不足を補うを考える時、国には食育法 町長 ますがどうですか。 食育・食農の重要性

ながら策定をしていきます。 具体的実践を目ざし 食育・食農の推進計

食農に関する基本法を町の施政として示せ

でなく、現在と同じように佐竹 共同調理場は民営化共同調理場の民営化 運営すべきと思うがどうで

佐竹典明 議員

町長

推進計画は、

具体的実践を目指しながら策定

民営化になっても現 今と同じよ

変わらないものと思います。必要性を思って働くならば、うに食育・食農の重要性、

場で働く人が、

形にしたいと考えています町民と一体感が導き出せる

具体的には、

今後検討を

ことを真正面からとらえ、 最上川は貴重な財産である 町長

本町が発展するには

るイベントを行ってはと思け、集中して最上川に関す

18

いますがいかがですか。

本木本町では、

は最上

まちづくりの求心力

度を「最上川年」

と位置づ 平成20年